

第21号

令和2年11月15日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



主な記事

- 第3回定例会報告・第5回臨時会 P2~P4
- 令和元年度決算特別委員会報告 P5~P7
- 町政** ここを問う（一般質問） P8~P11
- 役場庁舎に関する調査特別委員会中間報告 P12~P13
- 常任委員会報告 P14~P15
- 移住者インタビュー P15
- 各種委員会報告・まちづくり懇談会報告 P16



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索



おもいやり明日へ

Kindness for Tomorrow

【議案審議結果】

■令和2年度一般会計補正予算（第6号）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関係経費等で7,593万円を追加し、総額53億5,436万円

新型コロナウイルス感染症の地方創生臨時交付金（2次配分早期実施分）の計画概要

住民に対する支援関係

- 特別出産給付金 200万円
R2. 4. 28～R3. 3. 31までの出生者 1人10万円を給付
- プレミアム付き商品券 3,160万円
町内の消費喚起を促すため、7月1日で住民登録がある世帯に購入引換券を郵送。
4,000円で6,000円分の商品券（1世帯最大5セットまで）

事業所等に対する支援関係

- 医療・福祉・介護事業者給付金 550万円
町内に所在する医療・福祉・介護事業者に対する応援給付金
1事業者の上限額は100万円
- 事業応援給付金 3,000万円
感染症の拡大により影響を受けている事業者の事業継続を支援
R2.1月～12月の間を上・下期に分け、20%以上の減少率で1期 20万円を給付

公共施設・防災備蓄等関係

- 公共的空間安全・安心確保事業 500万円
奈井江中学校壁撤去（2教室）、黒板新設（3教室）

合計 7,410万円

■北海道市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する規約

■北海道市町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部を変更する規約

■北海道市町村総合事務組合理約の変更について

奈井江、浦臼町学校給食組合等の脱退に伴う変更

■財産の取得について（奈井江小学校タブレット整備事業）

契約金額 11,330,000円 契約者 (有)ノース・エコプラン

■財産の取得について（奈井江中学校タブレット整備事業）

契約金額 8,844,000円 契約者 (有)ノース・エコプラン

第3回定例会で審議された議案 ……………

地域住民と協議し「東町コミュニティ会館」・「東町児童館」を廃止 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 (2次追加実施分 1億4,307万円)

第3回定例会は9月8日から15日まで開催され、令和元年度決算認定のほか、提案された条例、補正予算、人事案などすべての議案を可決しました。
その結果、令和2年度一般会計予算の歳入歳出総額は55億3,721万円になりました。
その他4件の報告を審査し閉会しました。(議会傍聴者4名)

【議案審議結果】

報 告	補助団体監査結果報告について	報告済
	令和2年度に公表する健全化判断比率について	
	令和2年度に公表する資金不足比率について 病院事業会計 資金不足比率 6.2%	
	令和2年度奈井江町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書について	
条 例	奈井江町児童館設置条例の一部を改正する条例 東町児童館の廃止	全会一致
	奈井江町コミュニティ会館設置条例の一部を改正する条例 東町コミュニティ会館の廃止	全会一致
	奈井江町中小企業振興保証融資感染症対策基金条例 臨時交付金を財源とし、利子補給に活用する基金を積み立てるため制定	全会一致
補 正 予 算	令和2年度奈井江町一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認を求めることについて 高島排水機場の修繕費として8月4日付けで、132万円を追加 令和2年度奈井江町一般会計補正予算(第8号) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業、各福祉事業の前年度精査による負担金等、1億8,153万円の増額 令和2年度奈井江町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号) 感染症対応待合室の改修、医療従事者等の慰労金で950万円を増額	全会一致
認 定	令和元年度奈井江町一般会計等5会計の歳入歳出決算の認定について	全会一致
人 事	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 9月30日で任期満了となる堀 美鈴氏、林 知孝氏の再任に同意	全会一致
	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 9月18日で任期満了となる砂村博幸氏の後任に川端孝史氏の選任に同意	全会一致

【意見書審議結果】

意 見 書 名	提案者
種苗法改正案の慎重な審議を求める意見書	竹森 毅議員
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	笹木利津子議員
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	笹木利津子議員

上記の意見書は全会一致で可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。



新型コロナウイルス感染症の地方創生臨時交付金（2次配分追加実施分）の計画概要

住民に対する支援関係

- 学びの継続支援 509万円
子どもが大学等に在学していて、R2.1月～12月末までの間で1月の収入が20%以上減少した世帯
子どもが1人の場合 90千円 こどもが2人目以降は 135千円

事業所等に対する支援関係

- 中小企業振興保証融資特別資金 724万円
保証料、利子補給 (114万円)
基金（R3～R7年度 利子補給） (610万円)

公共施設・防災備蓄等関係

- 指定避難所の衛生環境資材購入 698万円
かんたんテント及び四方幕（20張）、プライベートルーム（65張）
足踏み式ディスペンサー（15台）、災害時健康管理キット
- 町立国民健康保険病院感染防止対策 500万円
感染症対応待合室への改修等
- 公共施設の感染防止設備整備 1,133万円
 - ・ 保健センター
放送機器、卓上衝立、扇風機、飛沫防止パネル、プレイシート、衛生資材消耗品
 - ・ 公民館・図書館・体育館・文化ホール
はめ込み式網戸、サーキュレーター、暖房機、空間除菌脱臭機・自動水栓・トイレ洋式化・フェイスシールド等消耗品
 - ・ 認定こども園
かばん掛けスタンド、食器スタンド、座卓
 - ・ 砂川市こども通園センター
空気洗浄機付きエアコン設置負担金
- 農産物ブランド化確立 1,060万円
土壌・作物体総合分析装置、卓上マルチ水質計、乾熱滅菌器、純水製造装置、土壌診断システム
- 高度無線環境整備推進 5,822万円
光ファイバーの整備（町内未整備エリア…白山、大和、瑞穂、高島、茶志内の一部）
- 公立学校施設衛生環境改善 2,916万円
教室等にロスナイ換気設置、トイレの洋式化、網戸設置、レバー式蛇口への交換、FF式ストーブの設置
- 救急・災害活動時感染症対策 127万円
サージカルマスク・グローブ・ゴーグル・感染防止衣・消毒薬等、非接触型体温計、熱画像直視装置、タブレット、トランシーバー、アクリル板
- 修学旅行延期に伴うキャンセル料支援 9万円
- オンライン会議システム整備 332万円
液晶型ディスプレイ、WiFiルーター、ノートPC、タブレット、ビデオカメラ、スピーカーフォン、公民館通信回線整備、ケーブル等
- スマホ収納導入 477万円
システム改修（住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、住宅使用料）

合計 1億4,307万円

令和元年度 一般会計等5会計の 歳入歳出決算を審議し全会計認定

9月9日・10日、決算審査特別委員会を開催し、令和元年度一般会計・3特別会計・1企業会計について審査し、全て認定しました。

各会計の決算額

会 計		歳 入	歳 出	差 引
一	般 会 計	46億8,136万円	45億6,733万円	1億1,403万円
特別 会計	国民健康事業会計	2億1,973万円	2億1,075万円	898万円
	後期高齢医療特別会計	9,932万円	9,880万円	52万円
	下水道事業会計	4億2,184万円	4億1,761万円	423万円
町立国保病院事業会計		10億1,055万円	10億9,242万円	△8,187万円
合 計		64億3,280万円	63億8,691万円	△4,589万円

※一般会計

- ・収入の状況では、町税と町税以外の自主的収入（施設使用料等）を合わせて「自主財源」と呼びますが、**自主財源の割合は32%**で残りの**68%**は国や道から受ける「**依存財源**」となっています。
- ・支出では、**経常収支比率が92%**と依然として高い率となっている。
- ・今年度は降雪量が少なく除排雪経費等が減少、歳入では**財政調整基金から8,875万円**を繰入しましたが、**実質単年度収支は3,119万円の赤字**となっています。
- ・ふるさと応援寄付金 **5,496万円**を各種事業に充当
- ・日本介護事業団派遣職員給与等 支出額2億2,157万円－事業団負担分1億5,181万円＝**6,976万円持出**
- ・一般会計から**各会計への繰出金**

会 計	国・道補助金分	町持出分	計
国民健康事業会計	3,177万円	1,826万円	5,003万円
後期高齢医療特別会計	2,236万円	1,089万円	3,325万円
下水道事業会計	1億8,762万円	7,450万円	2億6,212万円
町立国保病院事業会計	2億2,618万円	1億4,040万円	3億6,658万円
合 計	4億6,793万円	2億4,405万円	7億1,198万円

※町立国保病院事業会計

- ・実質収支の額を表記（内訳 **経常収支 △9,982万円 資本収支 0万円**）
- ・サービス付高齢者向け住宅分決算 **2,595万円の赤字**

基金残高

	H30現在高	積 立	取 崩	R 1 現在高
財 政 調 整 基 金	4億2,554万円	12万円	8,875万円	3億3,691万円
減 債 基 金	3,122万円	1万円	0	3,123万円
地 域 振 興 基 金	1億1,627万円	785万円	361万円	1億2,051万円
農業担い手育成基金	2,813万円	1,723万円	1,239万円	3,297万円
過疎地域自立促進特別事業基金	1,413万円	950万円	0	2,363万円
役場庁舎整備基金	2億13万円	3,008万円	0	2億3,021万円
森 林 環 境 基 金	0	113万円	0	113万円
合 計	8億1,542万円	6,592万円	1億475万円	7億7,659万円



質疑あれこれ 主な Q & A

こんな事業やりました

- 生活交通確保対策
1,127万円 (△11万円)
- 定住促進事業(住宅建設・リフォーム等)
5,361万円 (△2,120万円)
- ふるさと応援寄付金事業
2,426万円 (1,690万円)
- 子ども医療費助成事業
1,450万円 (△106万円)
- 病院事業会計繰出し金
3億6,658万円 (△2,689万円)
- 下水道事業会計繰出し金
2億6,212万円 (△1,506万円)
- 温泉施設の管理運営
1,960万円 (△7,338万円)
- 除排雪に要する経費
1億4,791万円 (△3,054万円)
- 小学校ICT整備
(サーバー、タブレット) 691万円
- 小学校校務用コンピューター整備 540万円
- 中学校校務用コンピューター整備 481万円

※()内数値は前年度比較

元年度は事業費の利息のみ支出

地域公共交通

問 温泉の営業休止により向ヶ丘線は減少、市街地循環線は増加、農村地区の乗り合いタクシーは減少している。今後の見通しについて

答 総務課長

向ヶ丘線は温泉休止後減少しており今後は温泉の動向等を見ながらという形になります。市街地循環線につきましては昨年11月くらいから伸びてきています。町民の皆さんからの要望があり、この10月から停留所を4か所増やして対応いたします。

意見

移住してこられた方の、意見や要望を聞き今後のまちづくりにかかしてもらいたい。

定住促進事業

問 定住促進事業による町外から移住状況は移住された方の意見要望等の対応について

答 政策推進主幹

町外からの移住者につきましては、新築住宅では3件10人。中古住宅では5件14人となっています。こちらから移住してきた方の意見、要望の確認はしていません。



ふるさと納税大幅増

問 ふるさと納税が過去最高額となったが取り組み状況について

答 企画財政課参事

令和元年度は過去最高の5,400万円の実績となりました。主力はお米で特にゆめぴりかの玄米が人気です。

昨年は500件近く申し込みがありました。また、インターネットのサイトも

1社から2社に増やしたことで。年明け日経トレンディのコンテストで大賞を受賞したことなどが増加の主な要因と考えています。本年度は、6,000万円を目標にして取り組んでおりインターネットサイトも昨年の2社から4社に、人気のゆめぴりかの玄米も倍以上の1,200件分確保し目標を超えられるよう取り組んでいます。

答 総務課長

問 免許証自主返納の影響は

分析はしていませんが、自主返納者が2020年1月から45名いますが、利用状況に大きな変化は見られません。

子育て世代包括支援センター

問 業務内容について

答 保健福祉課長

妊娠期から子育て期に係る母子保健または育児に係る様々な悩みに対応し、切れ目のない支援を供給するため令和2年2月に保健センター内に開設しました。令和元年度の相談については成長発達、予防接種、健康、子育ての悩み、こども園の入所に関することなど延118件の相談を子育て担当と保健師が連携して対応しています。

問 支援センターだけの対応か

答 保健福祉課長

必要性に合わせて関係職員以外にも、児童相談所の方など幅広く参集をかけて検討会議等を行っています。

こども園の管理運営

問 昨年暑さ対策に苦慮していたが今年対応は。

今は入園希望にこたえられないと聞いたが利用状況は

答 認定こども園所長

新型コロナウイルス対策の予算の中で空気清浄機能付きエアコンを導入しましたので、暑さ対策は問題ありません。

現在の児童数は定員120名のところ長時間99名、短時間18名の117名います。今後2名入所の予定で、119名となります。0歳児については定員の6名となりますので空きがありません。

問 定住対策で若い人が移住してきても入園できないと困る。増員できないか

保健福祉課長

今年度実施した子育て支援事業計画の中で積算した中では定員内で収まる見込みでありました。

面積要件がありすぐに増員することはできません。

保護者の状況に合わせて丁寧に関わって、入所の時期の相談等対応いたします。



認定こども園

奈良江商業高校支援

問 助成内訳と、次年度の対応

答 教育委員会事務局長

入学祝金32人360万円、制服助成32人172万円、広報活動助成20万4千円、検定等の助成10万2千円、通学費助成60人612万2千円で合計で昨年より180万円多い1,265万円です。

町民の皆様の意見を踏まえて、高校と議論を重ねてきたところです。

令和2年に入学祝い金を廃止。令和3年度においては、保護者負担の軽減策でなく、生徒のスキル、学力向上などに支援を行うため、新入生の交通費助成は廃止することとしました。

制服やジャージ、学校PR活動に対しての支援は継続いたします。

町立国保病院の運営

問 平成元年度は入院患者数の変動が大きいのがその理由と新型コロナウイルスの影響を伺う。

答 町立国保病院事務局長

医療区分の高い患者さんを積極的に受け入れたことも影響し昨年9月位から死亡される方が多く、通常40名以上の入院患者数を確保していましたが10月は34人となりました。11月以降積極的に受け入れましたが40人台に回復できたのは3月ということと年間入院患者数を大きく落としていました。

コロナの影響は3月から7月で見ますと、通院では5月が前年比15%減少、ほかの月は平均5.9%の減少、入院ではほぼ前年並みで大きな影響は見られません。

町政 ここを問う

9月定例会では4人の議員が**一般質問**を行いました。

QRコードを読み取ることで一般質問の音声を聞くことができます。

休止中の奈井江発電所

町民と議論する

場を設けては

町長 休止状態の状況化では難しい



大関光敏

大関

稼働開始から50年が経過し、老朽化や石狩湾新港のLNGの稼働等様々な事業で2019年3月に休止となっている。

個人的には再稼働の可能性は限りなく低いのではと思う。町内企業にも影響が出ていることから発電所周辺の将来について、町民と議論する場を設けては。

町長

施設は現状を維持して通常発電は行わないものの、電力供給における非常時には発電を再開する体制を整えているとの方針が示されている。再稼働が可能な休止状態である現在の状況下では、廃止を前提、想定した議論、検討を進める段階ではない。

大関

休止中は、自治体としての要請は難しいようだが、休止中のうちに議論を始めたいとおかなく、廃止となつてから議論を始めると遅いと思う。

しかし、奈井江町には現在、様々な課題があり全て町で議論するのも限界がある。

そこで民間で期成会を結成してはどうか。

民間であれば様々な要望を打ち出していけるのでは。

町長

もし仮に廃止となった時の想定をしなければならぬ。という事については行政の責任としてある。

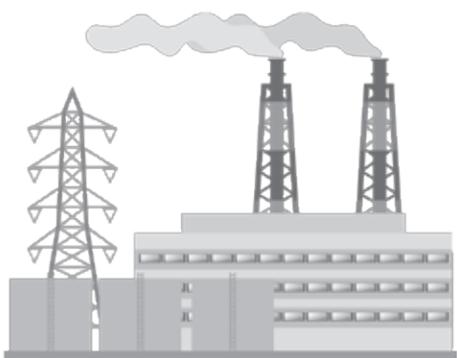
また、少し前の状況と違い、電気事業法が大幅に改正される中で、電気事業者がガスの供給だとか、色々なことに取り組まざるを得

ない状況にあるという事も、公に近い企業ではあるが、過去と同じような形で対応することがなかなか難しい。

砂川発電所、奈井江発電所長を兼任している現在の所長とも頻りに意見交換を行っている。

いずれにしても北電がどういう形で進むのかきちんと整理された中で奈井江町に対する支援等、関係性を維持しながらこれからも進めていく。

現段階ではまだ北電に要請できる状況にないと思う。



休館して1年が経過した

温泉の方向性は



町長 コロナ禍の中、今の状況から説明入り、その折々に判断する



篠田茂美

篠田

町は、昨年8月末で指定管理者が撤退してから、町民アンケート調査（800人 回収率は53%）や温泉施設運営に関する調査分析報告書を作成しました。

議会は常任委員会で、この件について調査し、町民の皆さんに現状や課題等をもっと知ってもらうため、現在の起債残高や指定管理者公募時の町の積算と指定管理者の実績との比較等を追加記載してもらい、皆さ

んの意見を聞くときは、町としての方向性を示し、議論するよう要望しました。

町長は、町民の皆さんの意見を聞いて、しっかりと

した議論を進めると、先般の議会で答弁されており

①ホームページに公表後に町民の意見徴収として取り

組んできた内容は②温泉施設等の活用につい

て、町内外事業所からの問い合わせはこれまでであった

のかどうか

町長

温泉の今後のあり方については、町民や議会の皆様と情報を共有しながら方向性について議論を進めてい

きたい。

①報告書については、5月にまちづくり町民委員会、7月に連合区長会議で

説明し、意見をいただいた。今後は、10月に開催する

まちづくり懇談会において報告書の説明を行うなど、

情報共有を進めるとともに、温泉に対する様々な意

見をいただきたいと考えている。

②これまで町外事業者から、施設の検討状況について電話での問合せと、施設

の見学希望があり、この2件の問合せに関しては、今

後における施設の運営や活用にに向けた具体的な話には

至っていない。

篠田

まちづくり町民委員会で

は、「近隣の温泉も、利用客が減って、厳しい状況に

ある」・「温泉の泉質、昔はもっと硫黄の匂いがしてい

たが、やっぱりこの数字に

なって、変化が出ている」ということが分かったとか、「できれば続けていた

だきたいが、やればやるほど町の赤字が増えるのであ

れば、できないのではないかと」などの個々のご意見もあるようです。

今の状況をきちんと町民の皆さんにお伝えしながら、町長が言うみんな

で協力し、最終的な方向性を見

町長

出していただければと思います。出ていますが、「まちづくりモニター」・「地区担当職員制度」も昨年立ち上げた

が、地域の声を今後どのよう

な形でまとめたいのかも含めて、再度伺いたい。

コロナ禍によって客観的な判断が、非常にしづら

い時期にあると思う。

そんなこともあって、まずは今の状況を説明するところ

から始め、正直なところ、性急に事をなせる

状況にはないと実感している。

ただ、町民の皆さんに説明していく中

で、どのような考えを持って

いるのか、それを聞きながら、その折々に判断する。



ないえ温泉外観

町立病院について

コロナ禍の影響とあり方

検討委員会の経過について



町長 厳しい状況だが、将来の病院の
あるべき姿を見定めていきたい



竹森 毅

竹森

病院の経営は、数年前よりかなり厳しいものとなっている。

そのため、今年度中に今後の方針を決めるため、第三者による病院のあり方検討委員会を発足させ11月の答申を目指して進んでいます。

また、2月からの新型コロナウイルス感染症のまん延ですべての経済活動や住民活動が制限されたり、自

大幅に減少している。

5月の対前年の医業収入は、13%減だった。

町立病院の状況は、新型コロナウイルスによる影響だけではないかもしれないが、4月から7月までの実績では、当初見込みに対し、入院は、1日あたり患者数が、1.2人で2.7%減。期間中の収益は、2.6%の減。

外来は、各診療科とも影響を受けており1日当たり患者数が17人、15・7%減。期間の収益は、5.3%の減となっている。

このような状況から、年度末の推計を立てるのが難しい状況であることを理解願いたい。

2点目のあり方検討委員会については、医療関係者や関係団体、町民代表など7名で組織し、これまで2回会議を開催し検討を進めている。

12月までに答申していた
また、検討委員会とは別

に病院経営の専門的な助言を受けるため、総務省の経営改善アドバイザー派遣事業により、9月3日・4日に2名が来町されました。書類による事前調査に加え、病院関係者へのヒアリングを行ったうえで、短期的な経営改善策や中長期的な経営アドバイスを受けた。

は、検討委員会での議論は、検討委員会での議論にかかしていきたい。
また、議会やまちづくり町民委員会に経営状況などの報告をするとともに、院内の部門代表との検討会議も並行して進めている。いずれにしても、多くの皆さんに意見をいただきながら将来の町立病院のあるべき姿を見定めていきたい。



町立病院検温センサー

複合型災害への備えと避難所運営

感染症対策を加えた 避難所運営と検討は



町長 継続した訓練のもと避難所運営を進める



笹木利津子

笹木

- ① 新型コロナウイルスを含む「感染症対策」を加え現状の避難所に何人収容できるのか
- ② 自宅避難や知人宅避難も含めた周知、検討は
- ③ 今後の避難訓練とマニュアル作成の用途は

町長

① 新型コロナウイルス感染拡大により、北海道版避難所マニュアルに準拠して避難所運営を進めて行くこと

になる。8か所の指定避難所において2020人の想定収容人数が5割を切る930人となることで今後複数の避難所開設に伴う現場

対応の職員不足が現実である。地域住民の協力が必要になり関係機関との連携を図ってまいりたい。

② 自宅避難や知人宅避難はまさに分散避難という新しいイメージが重要になってくる。避難先は避難所や避難場所に限るものではなく、安全な親戚や知人宅なども避難所になり得るということについて8月広報で周知したが、今後

も広報等による定期的な周知、啓発に努めてまいりたい。



③ 感染症対策に必要な備蓄品の使用手順の確認と感染症対策をした中での、職員による避難所開設訓練を8月

26日みなクルで実施した。今後も継続した訓練を行うとともに、状況を確認して感染症対策に対応した奈井江町版避難所マニュアルについて今年度を目途に作業を進めてまいりたい。

子宮頸がん予防ワクチン接種と 検診率を上げる取り組みは

町長 国の動きを踏まえ対象者に適切な情報提供を行う

笹木

- ① 子宮頸がんワクチンについて国の最新情報がホームページやパンフレットなどで周知されているのか
- ② 20歳以上の子宮頸がん検診数と罹患者数は

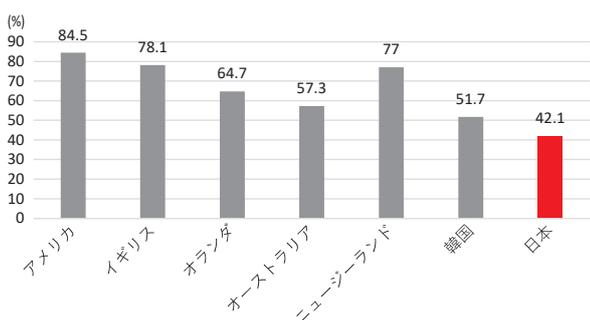
町長

① 近年若い世代での罹患の増加が見られさらに多くの命が失われている。町として政令で定める標準的な対象者と保護者に対して、毎年ワクチン接種について個別の案内をしている。積極的な勧奨は控えているが接種は可能であること。厚労省作成のリーフレットを同封し、保健センターで個別に相談対応に努めている。国の動きとして新しい子宮頸がんワクチンの承認、小児科学会等の各団体から厚労省へワクチン接種の積極的勧奨再開に関する要望書の提出などについても承知している。国の動きを踏まえ適切な情報提供を行い対象者及び保護者が

ワクチンの有効性を理解しつつ、接種について検討判断できるよう努めてまいりたい。

② 子宮頸がんの検診数は令和元年度より乳がん検診同様2年に1回の受診となったため、例年より減少しているが、本町の独自施策として超音波検査をセットで行うことで、早期発見を守る事が出来ている。

また、罹患者数も少ない状況で検診体制により、一定の効果が出ているものと思われる。



子宮がん検診受診率 諸外国との比較

役場庁舎に関する

調査特別委員会中間報告

第3回特別委員会

開催日 7月8日

調査内容 ○庁舎設計委託業務選定結果

果

○技術提案の内容

○議会関係の施設の在り方

主な質疑

問 最優秀提案者と次点の差が9.07あるが、この差はどこで出ているのか。

答

資格、実績の評価点が40点、技術提案の部分で80点の120点

満点の配点となっています。技術提案では最優秀者が58・25点で2位、次点が1位という結果でした。

最優秀者については資格・実績の評価点が満点の40点であることが大きなアドバンテージとなっています。

問 資格・実績の差が大きいとその理由は。

答 ここは事務局の主観が入ることなく、技術者の各資格者の配置、

人数、これまでの実績によるものです。

問 技術提案にスケジュールが出ているがこのようになるのか。

答 これはあくまでイメージで1回目の打ち合わせをしたが、今後の検討の中でスケジュールをしっかりと固めていくこととしています。

この検討の中でスケジュールをしっかりと固めていくこととしています。

問 契約金はいくらなのか。

答 最優秀提案者の北海道日建設計と8,580万円（消費税込）

で随意契約しました。

先進地視察

開催日 7月29日

視察先 ○岩内町役場

視察内容 今後の調査の参考とするため、平成27年5月事業完了した岩内町役場を視察研修した。



岩内町役場視察状況

庁舎新築の財源見通し

概算事業費は19億8千万円で、庁舎整備基金から2億7千万円、残りは借金（起債）で17億1千万円です。

借金の返済は、5年据え置で25年返済年6千8百万円で、このうち2千3百万円が交付税措置される見込みです。

第4回特別委員会

開催日 8月24日

調査内容 ○議会関係の施設の在り方

これまでの3回の特別委員会及び先遣地2か所の視察を踏まえて、議会関係施設の在り方について意見を取りまとめた。

主な意見

- 議場は町民も使える多目的ホール、会議室として利用できるようにするべき。
- 議場、傍聴席ともにバリアフリーで車いす等の対応が必要。
- 議場は岩内で見えてきた**対面配置型**が良い。
- 災害等を考慮し、自然採光、自然換気ができる構造としてもらいたい。
- 議会備品は簡素なもので、移動しやすい設備としたほうが良い。
- 議員控室は現状と同じく委員会室と兼用とし、議会専用スペースとしてもらいたい。
- インターネットに対応できるカメラ、マイクシステムを導入してもらいたい。

議会より町長に要望書提出

9月1日全員協議会において8月24日に取りまとめた議会関係施設の要望書の内容確認。

議長・正副委員長の3名で、議会議場他議会関係施設の要望書を町長に提出した。

9月8日第3回定例会において役場庁舎に関する特別委員会中間報告を行った。

中間報告の主な内容

特別委員会の設置理由
特別委員会開催状況
議会関係施設に対する要望

これまでに基本・実施設計業者選定までの調査を終了したが、今後も適切な時期に議会施設の機能も含めた調査を継続していくこととした。

※議場レイアウトパターンの比較

	直列配置型（従来型）	対面配置型（英国型）
模式図		
配置の考え方	正面に議長席及び理事者が議長席をはさんで両側に配置される。傍聴席は議員席の背後に配置される。	議場の中心にむかう4方向にそれぞれ議長席、議員席、理事者席、傍聴席を配置する。議員席と傍聴席が前後に重ならないため、傍聴者席から議員席及び理事者席の双方の質問・応答者の様子がうかがえるなど一体感がある。

まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

道路の
維持管理について

適切な投資を 行うように

調査内容

町道の維持管理
北海幹線用水路改修に伴う
架換工事
(現地調査実施)

問 2次改修の補助事業は

答 補助事業の対象はな
い。有利な起債を含め
て、単独事業を減らしながら
費用の掛からない方法で改修



東町地区道路

計画を検討していく。

問 緊急的な補修の単年度
予算は

答 部分的補修は年間1,
700万円で建設会館
に委託している

【委員会からの意見・要望】

道路の老朽化が進んでいる
ことから、順次計画的に改修
を進めていただきたい。

今後、計画的な維持管理、
パトロールの強化等により安
全な交通機能の維持に努める
とともに、次期まちづくり計
画を検討する際には適切な投
資を行い、道路の老朽化対策
に取り組んでいただきたい。

新型コロナウイルス感染症 緊急経済対策の 実施状況について

多様な事業展開を願う

調査内容

新型コロナウイルス感染症
緊急経済対策の概要及び執行
状況
(R2. 7. 27現在)

問 商工会に加入していな
い事業所への、各種事
業の周知方法は

答 主に広報ないえを利用
して周知している。

問 今回の緊急対策の終結
はいつか、又、残金の
取り扱い

答 最終的には3月末まで
国からは繰越や事業間
での流用も認められている
が、有効に使い切るよう柔軟
に対応していきたい。

問 光ファイバーの未整備
(約5%) 地域の整備
は必要か

答 新しい生活様式や、教
育ICT環境の実現の
ため、情報通信基盤整備は必
要と考える。

【委員会からの意見・要望】

これまでに5回の補正予算
により19事業の対策を講じて
きたが、第2次実施計画では
光ファイバー網の整備、役場、
公共施設のオンライン環境の
構築に向けた備品、設備の購
入や、避難所等での3密回避
のための対策等が検討中であ
る。

なかなか終息の目途がない
中、本町の子供たち、住民の
皆さんが、安心して暮らせる
よう臨時交付金を活用し、多
様な事業展開をしていただき
たい。

町税の賦課徴収状況について

さらなる徴収率の向上に努力を

調査内容

令和2年度賦課課税状況について

問 国保税は令和2年度から新方式となつて、所得の低い方々の負担が増える

答 収納率が下がると懸念するが

制度の理解をいたさないまま、北海道の示す保険税率に緩やかに合わせていく努力をする。

問 町税の徴収率は96%と高いが、空知

管内では低い方。向上に向けた考え方は

答 近隣以外にも札幌在住の滞納者を訪問した。今後も口座振替を推進するほか、利便性を図るためコンビニ納付などの導入を検討する。

【委員会からの意見・要望】
税の徴収における収入未済額は減少し、様々な手法により徴収率の向上には努力されている。

税は町政運営の自主財源であり、公平性の確保の観点からも、徴収率の向上に努めていただきたい。

平成30年度より都道府県化された国民健康保険制度では、今後も公平で適切な保険税率の設定や、基金の有効活用など安定的な運営に取り組んでいただきたい。



ようこそ奈井江町へ

定住・移住施策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。

今回は1件のご家族を紹介します



矢満田さんファミリー

奈井江で生まれ育ち高校卒業後、20年以上を札幌で生活していました。

親が電装業を営んでおり、子供がまだ小さいため、将来のことを考えて親の近くにおいて手伝いもできればと思い、平成27年9月に引っ越してきました。

その際、町の移住定住へのサポートも活用させていただきました。子供も支援センターの利用や、こども園での楽

しい日々を経て、今は元気に小学校に通っております。

故郷で子育て出来る喜びを日々感じています。私自身も幼いころから親しんだ白樺公園のリニューアルを、親子共々楽しみにしております。

できれば夕方に子供たちに向けたチャイムの放送があったり、各公園に時計があると安心かと思えます。

まちづくり懇談会に参加しました

10月14日から21日まで3回の懇談会が実施されました。「役場庁舎の整備」、「町立病院の経営状況」、「ないえ温泉のあり方」、「児童施設の現状について」、各関係団体の代表者や、一般町民の方々の出席もあり、様々な方向から質問や意見、また要望等が出されました。

町長は皆さんから寄せられた声をしっかりと議論をさせていただき、今後のまちづくりに活かして行きたいとのことでした。

尚、タウンミーティングの要望が各団体からあれば説明を受けることができます。



委員会報告

Committee Report

議会運営委員会報告

9月3日
第3回定例会の議会運営について

広報常任委員会報告

議会日より20号（8月15日発行）編集のため4回の委員会を開催

全員協議会報告

9月1日
第3回定例会の議案説明について
9月8日
第3回定例会の議会運営について
9月15日
一部事務組合等の議会報告について



表紙の1枚

10月17日認定こども園「ぞくくみ」の発表会がおこなわれ日頃の練習成果を披露しました。



第4回定例会（予定）

■日程 12月9日（水）
～12月11日（金）

■場所 役場3階議事堂
どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

問い合わせなどは議会事務局まで



65-2166



gikai@town.naie.lg.jp

編集後記

新型コロナウイルスも、道内では、札幌以外は終息に向かっていている様に感じますが、一方でインフルエンザの流行の時期にも入ってきました。みなさん予防接種は受けましたか？

町内は稲刈りも終わり、新米のおいしい季節になりました。食欲の秋ですが、食べすぎには注意しましょう。

また、今回初めての「まちづくり懇談会」が開催されました。議員も参加し、みなさんの意見を聞いてきましたので、今後の活動の参考にしたいと思います。



発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
副委員長 笹木利津子
委員 大関 光敏
篠田 茂美